

# 地域と学校の協働通信

令和5年4月28日  
武蔵野市教育委員会  
指導課教育推進室  
第9号

## 学校運営協議会機能を取り入れた、開かれた学校づくり協議会 モデル校、始動！！



令和4年12月に提出された「学校・家庭・地域の協働体制検討委員会報告書」を受け、市教育委員会では、学校運営協議会の機能を有する「開かれた学校づくり協議会」のモデル校として、**境南小学校**と**第一中学校**を指定しました。

ここでは、モデル校としての取組をスタートさせた両校の様子を紹介します。

報告書はこちらから  
ご覧いただけます



### 境南小学校

第1回は、  
5月1日です

大矢 照男さん	境南地域防災懇談会会長
菊池 和恵さん	境南保育園園長
鈴木 一行さん	境南サッカークラブ会長
澤木 宗人さん	青少協境南地区委員長
古田 順子さん	境南小地域コーディネーター
小川 恵美さん	境南地域こども館館長
谷古 裕子さん	境南地域社協会会長
南 亮太郎さん	地域商店マイスタームラカミ
島倉絵里加さん	P T A 会長
見木 久夫さん	武蔵境活性化委員会委員長
鈴木 聡さん	東京学芸大学 副学長
杉谷 努さん	校長

事務局 片山京子さん



### 第一中学校

第1回は、  
5月9日です

本郷 伸一さん	青少協井之頭地区委員長 第一中地域コーディネーター
長嶋 光子さん	青少協第一地区副委員長
落合 勝美さん	中央コミュニティ協議会委員長
平田由美子さん	第一小地域コーディネーター
富岡 茂さん	第一中地域防災会会長
日名子英男さん	民生委員児童委員
三原 忍さん	P T A 会長
南部 道子さん	認定NPO法人ピープルズ・ホープ・ジャパン広報室長
稲葉真佐子さん	学校生活支援員（西東京市）・第一中保護者
松村 悠翔さん	成蹊大学学生
中嶋建一郎さん	校長

事務局 高橋りかさん

モデル校では、「開かれた学校づくり協議会」の**委員数を12名以内**（従来は8名以内）に、また、**実施回数を8回程度**（従来は、「原則4回」）に増やすことにより、多様な視点から充実した協議を行います。今回お示した委員も、健全育成団体やコミュニティ協議会、NPO 団体、大学生、地域の若年層や幼児教育機関等、多様なご経験や学校との関わりのある方となっており、今後の全校展開に向けた参考にしていただけたと考えています。

教育委員会では、両校の「開かれた学校づくり協議会」のより充実した活動を支援するため、委員や教育委員会と連絡・調整しながら各手続き、会議の通知・資料等の準備、広報活動、会議記録の作成などの事務を行う事務局職員を配置するとともに、運営の参考となるガイドラインを作成しました。同ガイドラインは、モデル校での成果と課題を踏まえて随時改訂を行い、全校実施に向けた支援の手立ての一つとしていきます。

**今後も、モデル校の取組等について本通信等で発信してまいります。次号では、2校の第1回の会議の様子をお届けします。**

# 「熟議」の研修を実施しました

3月20日に、「開かれた学校づくり協議会」の委員さん等を対象に、「熟議」の研修を実施しました。参加されたのは、モデル校である境南小学校・第一中学校の「開かれた学校づくり協議会」の委員さん5名と先生方5名、市内の地域コーディネーター10名、教育委員会事務局4名の計24名でした。

講師は、三鷹市統括スクール・コミュニティ推進員であり、文部科学省指定のCSマイスターでもある、四柳千賀子さんです。

## 「熟議」とは？

「協働を目指した対話」のことをいいます。具体的には、下記のようなポイントを満たした、**協働に向けた一連のプロセス**を指します。「開かれた学校づくり協議会」では、「熟議」をとおして、建設的な課題解決に向かうことが大切だと考えます。

1. 多くの当事者（保護者、教員、地域住民等）が集まって、
2. 課題について学習・熟慮し、議論をすることにより、
3. 互いの立場や果たすべき役割への理解が深まるとともに、
4. 解決策が洗練され、
5. 施策が決定されたり、個々人が納得して自分の役割を果たしたりするようになる



教育を取り巻く様々な状況の変化を踏まえつつ、課題に立ち向かい、乗り越えるための知恵と実行力を生み出していくためには、教育現場に関わる様々な立場の方による「熟議」に基づく教育政策形成を促進することが求められています。

研修では、「学校運営協議会」の目的や、「熟議」のねらいや具体的な方法等について教えていただいた後、「熟議」の演習を行いました。テーマは「武蔵野市の子どもたちの未来をみんなで語ろう！」です。実際の流れや様子を下記に紹介します。

### 研修当日のテーマ 「武蔵野市の子どもたちの未来をみんなで語ろう」

#### 当日の熟議の流れ

自分が取り組んでいる活動や事業を具体的に付箋に書く（個人）

模造紙に付箋を出していきながら自己紹介（グループ）

「これからの時代を生き抜く武蔵野市の子どもたちがもっている力、また身に付けてほしい力」を付箋に書く（個人）

「身に付けてほしい力」に対して、自分たちがやっていることやできそうなことをつなげてみる（グループ）

グループの代表が発表し、全体で共有する

#### あるグループがまとめた模造紙とその内容（抜粋）

##### 良い心

- 落ち込んでも立ち直れる
- 自分の機嫌を自分でとれる

##### 地域・助け合い

- 人を助けることができる子
- 朝の挨拶運動

##### 力を付ける

- 目先の「楽」に流れない
- 探究心
- 防災授業

- : 身に付けてほしい力
- : できそうなこと



##### その他

- 自分を好きでいられる
- 「助けてほしい」と言える
- 周りの人を笑顔にできる
- 生涯を通して学ぶ
- 子どもたちの話を聞く
- よかった活動を発表する場を作る